

集落支援だより

No.12



柿の葉っぱで休んでい
るのは「ラミーカミキリ」
明治時代に来ました

問い合わせ：

岩国市中山間地域振興室

集落支援員 金丸 恵子

電話：0827-29-5015

初夏の草刈り作業—大藤集落

R7.6.8(日)

7時 30 分到大藤公会堂に集合して、住民 6 人、
集落出身者 6 人、支援員 1 人の 13 人で草刈り作
業を行いました。

落合方面に向かう市道を中心に集落周辺の生活
道の草刈り班と梅雨座衛門岩周辺の草刈り班とに
分かれ、少数精鋭でがんばりました。刈った草を
ガンゼキで道路ヘリに集めたり、谷側に落とした
りの作業をやりましたが、連日の雨でたっぷり濡
れた植物は大変重く高齢者ばかりの住民にとっ

てはしんどい作業となりました。しかし、若い集落出身者が法面や墓の周辺等々、日頃手の回らない場
所の草を刈ったので、しばらくは草刈り作業から解放されることでしょう。

草刈り作業の後は、公会堂でお昼をいただき、しばしよもやま話に花が咲きました。



“ おしらせ ”

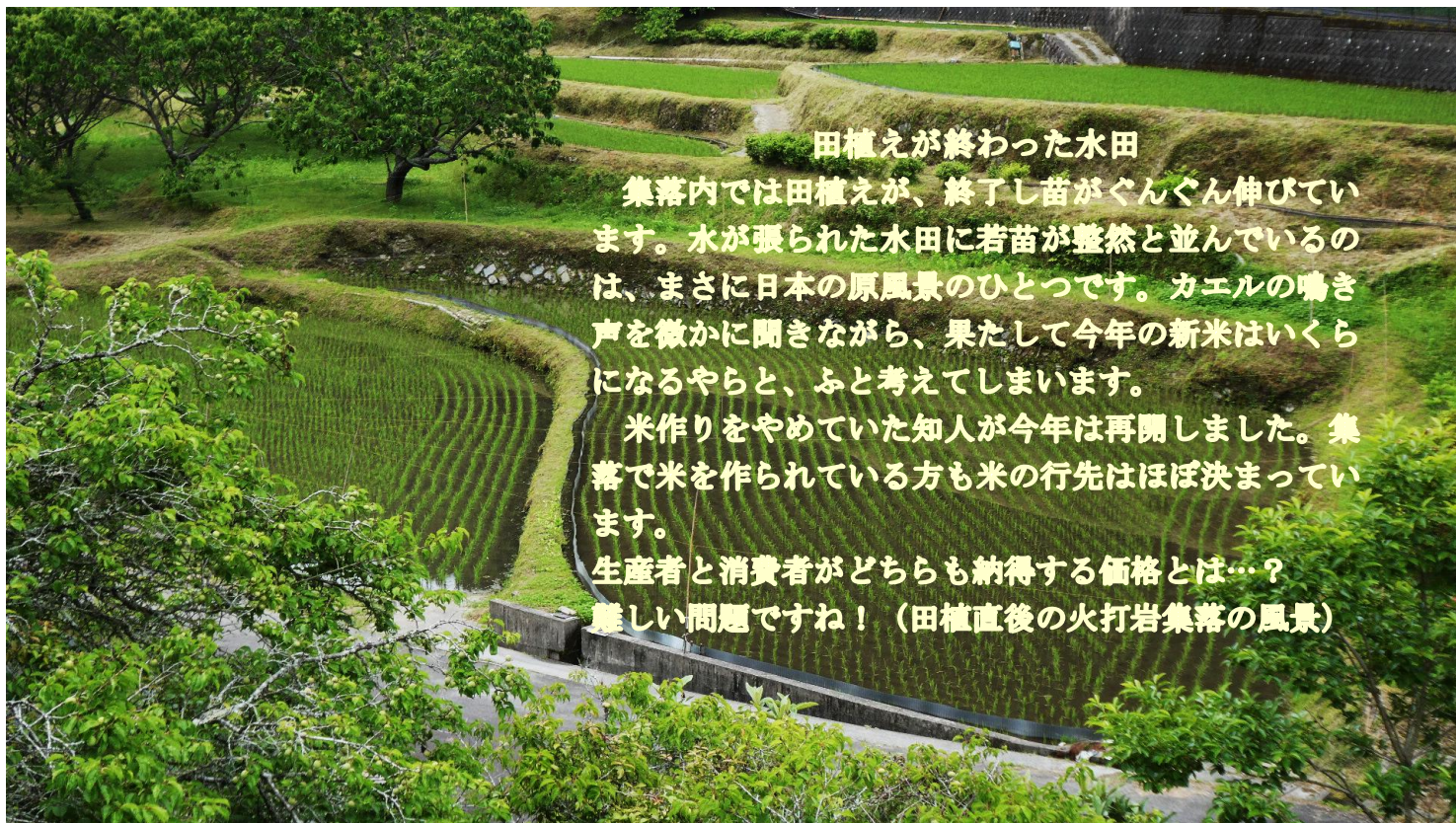
集落を巡回しているとアナグマやハクビシンの被害を
よく耳にします。イノシシはもちろん、昨年出没した子熊
も気になります。アライグマやヌートリアもいるとか。そ
してシカの鳴き声も聴こえるそうです。駆除ばかりではな
く、相手の習性を知って上手く対処できるのは、人間だけ
です。

昨年の防災講話に続き、今年は獣害対策の講習会をサロ
ンの中で開催したいと思います。県から担当の講師の方に
来ていただき、アナグマ対策のお話を中心に獣害による被
害防止のポイントや制度の利用で、収穫前に先を越される
悔しさを減らしましょう。

講習会は住民の方ばかりではなく、集落内で耕作されて
いる方にも参加していただき、講師のお話はもちろん、集
落の方と交流を図る良い機会にしていだけたらと思いま
す。

日時等決まりましたら追ってお知らせいたします。





田植えが終わった水田

集落内では田植えが、終了し苗がぐんぐん伸びています。水が張られた水田に若苗が整然と並んでいるのは、まさに日本の原風景のひとつです。カエルの鳴き声を微かに聞きながら、果たして今年の新米はいくらになるやらと、ふと考えてしまいます。

米作りをやめていた知人が今年は再開しました。集落で米を作られている方も米の行先はほぼ決まっています。

生産者と消費者がどちらも納得する価格とは…？
難しい問題ですね！（田植直後の火打岩集落の風景）



高畑の廣中さん宅の白花トケイソウ



六呂師・叶木の

夏の彩（いろどり）

初夏から盛夏にかけては白い花が主流です



【編集後記】

今年の夏もやっぱり暑い！

毎年のことで、もう驚きませんという方もたくさんいらっしゃるでしょうね。6月には梅雨が明け、急激に暑さがやって来たので、身体が暑さに馴染みきれていない方もいるのでは？長い夏が始まりました。体調管理に気をつけるのはもちろん、夏本番に向けて防災備品の点検もお忘れなく！備蓄品は分散して保管しましょう。

東郷集落には 106 歳の末岡シズコさんが元気に過ごしていらっしゃいます。みなさん、負けずに夏を乗り切りましょうね。



御庄川、水量も豊富で冷たく澄んでいます